

2016～2017年度 334複合地区年次報告 (第63回334複合地区年次大会)



年次報告

334複合地区ガバナー協議会
議長 久野好輝

2016年6月24日から5日間に涉り福岡市に於いて第99回国際大会が盛大に開催され、米国テネシー州出身のL.ボブ・コーリューが2016～17年度国際会長として誕生致しました。国際第一副会長にはL.ナレシュ・アガワル(インド・デリー)、国際第二副会長に女性初のL.グッドラン・B・イングバドター(アイスランド)、国際第三副会長にL.ジャング・ユル・チョイ(韓国)が就任されました。

今期国際会長はテーマに「**次なる山を目指して**」を掲げられ、新たな社会奉仕の為、目的達成にあらゆる困難を乗り越え克服し、皆さんの積極的なご活躍を願うとし、新年度の出発となりました。

本年は全日本レベルにおいては、昨年度より準備中で長年の懸案でありました一般社団法人日本ライオンズが設立され、日本ライオンズ連絡事務所とライオン誌日本語版事務所が合併し、東京八重洲に事務所を設置、7月4日東京帝国ホテルに於いて記念式典が開催されました。8複合ガバナー協議会議長連絡会と(一社)日本ライオンズとのコンセンサスなど、尚今年度から議長連絡会議、日本ライオンズ理事会、各委員会などにWEB会議を数回にわたり取り入れ実施、集合会議と併せて度重なる協議をして参りました。

さて、334複合地区のテーマは「**100周年にウィサーブ つなげよう未来へ**」とし、各地区ガバナーにより100周年記念奉仕活動のレガシー・プロジェクトを第一として、会員増強、LCIFの目標達成を地区内全クラブに発信を致し、大きな成果をあげて頂きました。

会員増強については、GLT、GMT両コーディネーターのご指導の下、各地区ガバナーの基本方針目標数値を起点として正会員、家族会員、賛助会員の増員を推進し、特に今期女性会員の増強にはFWTコーディネーターのご協力により女性・家族会員セミナーの開催などで積極的効果をもたらし、お蔭をもちまして会員増強純増日本一とした地区もありました。

尚、334複合地区におけるクラブエクステンションとして、3クラブの新結成があり、又クラブ内支部の結成などのご協力により大きな成果を頂きました。

LCIF献金についてはA地区によるMJF献金のリーダーシップ的役割の下334複合地区(4月30日現在)合計MJF献金2,058口の成果をあげて頂き、クラブ献金その他を合わせて総額220万ドルを達成いたし全国一位としました。国内外にわたる援助・事業支援のためのLCIF交付金も大いに活用頂きました。

また、2017～2019年国際理事候補者として、334-E地区よりL.佐藤義雄が立候補され、国内7複合地区への候補者支援のお願い訪問、11月10日～13日東南アジアフォーラム香港大会にて承認、2月10日～11日台湾、台南市においての第一回ステアリング委員会を経て、来るべきシカゴ国際大会にて代議員選挙投票に望まれる処でございます。今後皆様の積極的な国際大会ご参加と代議員登録投票のご支援を節にお願い申しあげる処でございます。

結びに当たりこの一年間、山田實紘前国際会長・LCIF理事長はじめLCIF国際理事、元国際理事、ガバナー並びに各委員会の皆様から絶大なご指導ご支援を頂きましたことに心からの感謝を申し上げ活動報告と致します。